

	農学研究科(修士課程)
DP	<p>農学研究科修士課程は、生命・食料・環境・自然に対する深い専門的学識と洞察力を有し、豊かな創造力と実践力を備えた高度な専門技術者及び研究者の養成を目的としています。その実現のため、次のような能力等を身に付けることを目安に、2年以上在学して研究指導を受け、所定の単位数を修得し、かつ本研究科が行う修士論文の審査及び試験に合格した者に、修士(農学)の学位を与えます。</p> <p>①生命現象のしくみ、生物の利用と生産、環境保全、食料問題等についての高度な専門知識と研究手法を修得している。</p> <p>②専門領域において独創性を大切にし、技術革新の推進や社会の持続的発展に寄与するための施策を提起することを自らの使命と考える。</p> <p>③専門あるいは関連領域の研究者に自らの研究成果をアピールできるとともに、相互理解を深めるためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。</p>
CP	<p>①専攻学術についての高度な知識や分析手法を、専攻が編成した講義、演習、実験、実習により修得させる。</p> <p>②教員と学生の活発な意見交換に基づく論文作成を重視し、これにより、未解明の問題へのアプローチ法、論理的思考法、科学倫理を学ばせる。</p> <p>③研究成果を学会等で発表することを支援し、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養う。</p>
AP	<p>農学研究科は次のような人を望みます。</p> <p>農学分野または関連分野に対し、学部で培った基礎及び応用能力をもち、さらに高度な専門技術者及び研究者として広く社会の発展に貢献したいという強い意志と意欲をもった人</p>

	<p>農学研究科(博士後期課程)</p>
<p>DP</p>	<p>農学研究科博士後期課程は、生命・食料・環境・自然に対する深淵かつ高度な専門的学識と洞察力を有し、豊かな創造性と実践力を持つ自立した研究者の養成を目的としています。その実現のため、次のような能力等を身に付けることを目安に、3年以上在学して研究指導を受け、所定の単位数を修得し、かつ本研究科が設定した博士後期課程の論文審査基準を満たし、合格した者に、博士(農学)の学位を与えます。</p> <p>①修士課程等で修得した知識と研究手法のうえに、専門領域についてさらに深い学識と高度な分析能力を備えるとともに、それらを活かして独創的な課題を設定でき、自らそれを解明・展開できる。さらに、その成果を論文化する能力を持つ。</p> <p>②生命や社会への深い理解に根差した高い倫理性と実践力を身に付けている。</p> <p>③人と自然の調和ある共存をふまえ、生命・食料・環境領域を通じて日本そして世界の繁栄に貢献できる。</p>
<p>CP</p>	<p>①独創的な課題研究と論文作成を通して、論理的思考法、発展的研究課題の設定法、科学倫理をより深く学ばせる。</p> <p>②研究成果の国内外の学会での発表や学術誌への投稿・掲載を支援するとともに、プレゼンテーション能力をより高める。</p>
<p>AP</p>	<p>農学研究科は次のような人を望みます。</p> <p>農学分野または関連分野に対し、自立した研究者として、国公立の研究・教育機関等において広く社会の発展に貢献したいという強い意志と能力をもった人</p>